

広報誌 NEWS



病院に新しいMRI装置 (3.0T SIGNA EXITE) が導入されることが決まり、3月4日～7日に東京都のGEヘルスケア・ジャパン(株)TACビルでMRIオペレーション・トレーニングに参加しました。MRIについての専門的な講義を受け、実習では実践的なトレーニングも行いました。また他施設の参加者との質疑応答では、知識を深めると共に検査の質を向上させる情報を得ることができました。最新の医療に応えられるようにこれからも自己研鑽に励み、患者さんや医師に、より有益な情報を提供できるように努力していきます。

放射線科 京河 雅史

院内感染防止対策研修、リスクマネジメント研修に参加

3月18日、3月21日に病院内で「院内感染防止対策研修」と「リスクマネジメント研修」が同時開催されました。この2つの研修は、より安全な医療を提供する為、定期的に行われております。今回のリスクマネジメント研修は、「確認作業が習慣化できるようになる！」という題の下、確認作業の意味を理解する事から始められました。事例を用いた実践練習が取り入れられ、学んだ事をその場で行うことでより身に付けやすいものと感じました。

今後もこのような機会を大切にし、患者様が安心して医療を受けられる様、自己研鑽に努めていきたいと思ひます。



薬剤科 山本 章代

総合火災非難訓練に参加しました



平成25年3月25日(月)13時より東館完成に当たり、総合火災非難訓練を実施しました。大洲消防署協力のもと、屋上に取り残された設定で、はしご車に救出される大がかりな訓練を体験しました。とても不安でしたが、いざ体験すると安全面には十分な対策が施され、また、消防士の方たちの指導のおかげでスムーズに行動できました。大規模災害や火災等が起こった時に迅速な対応ができるように訓練することの大切さを改めて感じました。

事務部営繕係 濱田 雅弘

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No. 34
2013/04



大洲中央病院では、安全で患者さんに負担の少ない内視鏡検査を目指しています。

医師 寺尾 孝志 | 看護師 大本 絹枝

Zoom Up! Oozuchuo Hospital 病院案内 【内視鏡センター】

外来診療医師一覧表

診療科目		木曜	金曜	土曜	日曜	月曜
内科	1 診	大久保啓二*	大久保啓二*	大久保啓二*	大久保啓二*	池本 純*
	2 診	寺尾 孝志	池本 純*	池本 純*	寺尾 孝志	寺尾 孝志
	3 診	井上 明子	近藤 誠司	寺尾孝志(第1・3・5) 近藤誠司(第2・4)	近藤 誠司	井上 明子
		[初診]		[初診]		[初診]
4 診		越智 明子		池本 純(第1・3・5) 小島直彦(第2・4)	越智 明子	
		[初診]		[初診]		
外科	1 診	森岡 徹	森岡 徹		森岡 徹	森岡 徹
	2 診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
	3 診		武内 成禮	武内 成禮		
整形外科		栗田 英明	栗田 英明	栗田 英明	栗田 英明	栗田 英明
泌尿器科		清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1 診(再診)	橋本 尚樹	西原 潤	宮崎 始	西原 潤	橋本 尚樹
	2 診(新患)	宮崎 始	宮崎 始	西原 潤	橋本 尚樹	西原 潤

受付時間 午前8時00分～午前11時30分
 診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり) ※は、予約診療になっています。
 休診日(4～7月) 救急診療のみ…5月3日(金)、5月4日(土)、5月5日(日)
 休診日……………火曜、水曜、4月29日(月)、7月15日(月)

医療法人 北斗会
大洲中央病院
 Oozuchuo Hospital



編集後記

日々暖かくなり、気分も楽しくなって嬉しい今日この頃。春から初夏にかけては風が心地よく、美しい花や若葉が目を楽しませてくれます。新病院建設も2期工事までが終わりました。今年の秋に予定している新病院全館オープンに向けてスタッフも希望を大きく膨らませています。今まで以上に安心・安全な施設でスタッフ一同ますます頑張っております。

発行/医療法人 北斗会 大洲中央病院
 編集/広報委員会
 寺尾光司(事務部長・理事)/京河(放射線科)
 /高岡(師長)/伊達・谷口(看護部)/
 福田・和田(リハビリテーション科)/
 松本(総務)/檜巻(栄養科)



透視下で結石や内視鏡カメラの位置を確認している放射線技師。総胆管の拡張や胆嚢の腫大による炎症をなくすことを目的に、原因である総胆管結石を取り除く医師のサポートをしています。

経験豊富な専門医が苦痛の少ない検査を心掛けています

大洲中央病院新築工事に伴って、昨年3月に内視鏡室の機能を強化し、本館1Fに内視鏡センターが開設されました。検査室、回復室(リカバリー室)およびX線透視室を併設し、最新の機器を用いて専門スタッフが日々患者さんの検査・治療にあたっています。

「内視鏡検査は、週3回の救急対応という当院の性格上、一般検査としての内視鏡に比べて、胆石・

胆嚢炎、消化管出血や大腸ポリープ、EIS・ERCP・EST、止血術など治療内視鏡の割合が非常に高くなっています」(寺尾孝志医師)。

一般の上下部内視鏡検査は、1cm未満の細く柔らかい管を消化管に挿入し、上下部消化管の内部を内視鏡先端に内蔵された小型カメラで観察し異常を発見するものです。

健診では今もバリウムを用いた検査が主流ですが、バリウムでは大きな異常を観察することはできないものの粘膜の詳細な状態まで見ることはできないため、気になる所見があれば、内視鏡検査を受

安心して検査が受けられるように
医師、看護師、放射線技師が
連携して対応しています。

看護師 太田 まり子



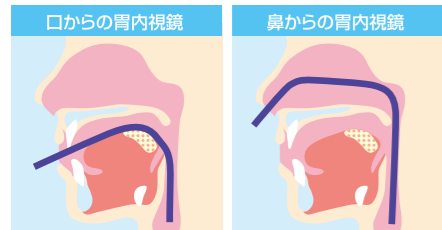
Zoom Up! 病院案内 【内視鏡センター】

けることとなります。検査の精密さは内視鏡検査の方が優れていると言えます。

内視鏡検査にかかる時間は10分から15分程度。費用も7~8,000円程度です。

「胃カメラや大腸カメラなどと聞くと『痛いのでは』、『管を体内に入れるのは恐ろしい』などと思われる方も多いようですが、経験を積んだ専門医が、安全で負担の少ない検査を心掛けています。また、過去の内視鏡検査で辛い思いをされた方も、安心して受診して頂けるようになっています。」(寺尾医師)。

当院ではお勧めしていませんが、少量の麻酔薬を使用したり、経口内視鏡の代わりに経鼻内視鏡を使用することも可能です。



早期発見・早期治療が大切。
定期的に内視鏡検査を!

内視鏡検査では食道・胃・十二指腸・大腸などの状態を詳しく調べることができます。

日本人の死因のトップはがんです。今や「日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる」とも言われています。胃がん・大腸がんはその1位、2位を占めています。以前、がんは不治の病と思われていましたが、今では早期発見できれば治療率も高いことが知られています。

現在、がんを完全に予防することはできませんが、早期発見によって適切な治療を受ければ、治療率をより高めることは可能です。まずは自分の体に関心を持ち、定期的に検査を受けられることをお勧めします。

また、EIS・EVL・ERCP・ESTなどの検査・治療もおこなっています。

「地域的な要因があり、大洲は特に胆石の患者さんが多いですね。胆石・胆嚢炎は一度発症すると急速に重篤化しやすく、消化管出血の場合も早急に止血をしなければいけません。状態が悪い中での緊急内視鏡による処置が必要となり、遅れると命に関わる事になります」(寺尾医師)

「体の不調を感じた時だけでなく、胃の検査は1年に1度、大腸の検査は2~3年に1度は受けられるのが理想です。専門的な知識が豊富なスタッフばかりですので、気軽にお問い合わせください」(看護師:大本絹枝)



当センターでは専門のスタッフが地域、患者さんのニーズにこたえ、身近なホームドクターとして皆様の健康を守っています。受診をご検討されている患者さん・そのご家族の皆様へ納得して受診して頂けるように今後も情報発信していきます。

※注

EIS(食道静脈瘤硬化療法)…内視鏡で静脈瘤を確認しながら、局注針を用いて硬化剤を注入して静脈瘤を固めます。

EVL(内視鏡的静脈瘤結紮術)…ゴムバンドで静脈瘤を機械的に結紮し静脈瘤を壊死脱落させます。

ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)…総胆管に内視鏡を挿入して、その先に付いた細いチューブから造影剤を注入し、胆道系、膵管を直接造影する検査です。

EST(内視鏡的乳頭切開術)…ERCPを行い、造影をした後、内視鏡からパピロトミーナイフ(電気メス)を挿入して、乳頭を切開し胆汁の出口を広げたり胆石を取り除きます。

東館完成のごあいさつ

一昨年より始まりました病院新築工事も、昨年の本館に続き、本年3月に東館部分が完成いたしました。

この度は同一敷地内での工事となり、ご利用の皆様にご迷惑をおかけしましたが、ここに東館部分完成のご案内をできることは、関係各位と地域住民の皆様のご理解、ご協力の賜と心から感謝申し上げます。次第です。

新病院はオール電化を整え、建物の耐久

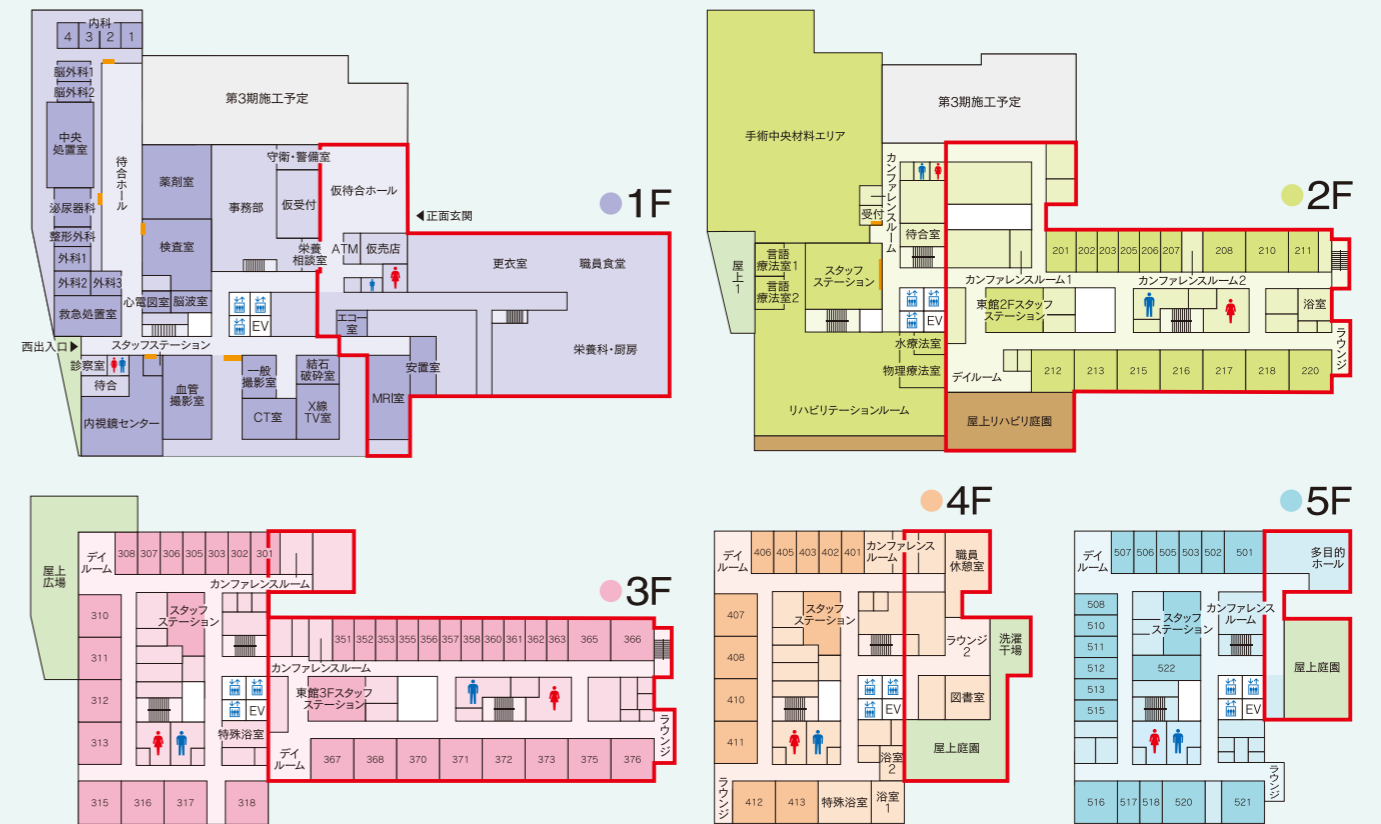
性・耐熱性に配慮し、最新の医療機器設備に対応できる施設となっております。地域の方々にも喜んでいただけるものと確信しております。

今後は、今までにも増して高度医療を推進し、『患者様に優しい病院』として地域医療を担い貢献していけるよう、職員とともども気持ちも新たに邁進していく所存です。まだ3期工事が残っておりますが、何卒引き続きご協力をお願いします。



大洲中央病院
東館のご案内
Oozuchuo Hospital

第2期工事完成部分



院内美術館



『紫陽花』
カシニール作

柔らかい輪郭で描かれた女性

今回ご紹介するのは、この3月に完成した東館3Fのデイルームにあるリトグラフです。作者は優美な色彩とエレガントな雰囲気、世界中で愛され続けるフランス画壇の巨匠カシニール。この『紫陽花』(1989年)は、上品でやさしさに満ちた落ち着いた雰囲気の世界です。これからの季節にピッタリの一枚。ノスタルジーに満ち溢れた世界を感じてください。(『立葵』、『会話』、『モンテカルロ』も所蔵)



カシニール (Jean-Pierre Cassinior) / 1935年生まれ / パリ美術学校教授ジャン・スヴェルビに師事。1958年以来、パリを中心に世界各地で個展を開催。日本でも特に人気のある作家。

次号は「富嶽潮音」をご紹介します。